※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	２・３単位	年次	２年次
使用教科書	「精選　論理国語」　（三省堂）						
副教材等	「論読　評論文」（浜島書店） 「入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500」（いいずな書店） 「常用国語便覧」（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章に触れることで「読解力」を向上させるとともに、批判的に読み進めていくことで「多角的なものの見方」ができるようにする。
・「書くこと」の活動を通して、自分の意見を論理的に表現する力を身に付ける。
・副教材等を効果的に用いて知識を定着させるとともに、家庭学習の習慣を身に付ける。
・板書された内容だけでなく、自分自身で気づいたことやポイントなどもノートに記録していく。

２　学習の到達目標

・多様な見方，考え方，感じ方にふれ，物事を総合的に捉えることのできる，幅広い人間性，豊かな感性と判断力を育てる。
・自ら学び自ら考える意欲を喚起して，主体的に生きてゆく力をはぐくみ，国語の力を育成する。
・言語事項を総合的に学習し，国語に関する知識を深めることにより，国語に対する関心を高め，国際社会に生きる国語の力を獲得させる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	論理国語へのいざない ［教材］ 「論理力と思考力」 （野矢茂樹）	a:文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[　読　]:内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	環境問題を考える ［教材］ 「人類による環境への影響」 （鷲谷いづみ）	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ｂ[　書　]：本文を読み関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を読み手に分かりやすく伝えられるよう工夫してまとめている。 ｃ：進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め文章の内容や構成を的確に捉え、調べた成果を発表しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	論理国語へのいざない ［教材］ 「納得の構造」 （渡辺雅子）	a:文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている b[　読　]:内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	言葉をみつめる ［教材］ 「記号を使う動物」 （池上嘉彦）	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[　書　]:関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、「言葉」の役割についてまとめている。 c:進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	「情報社会」を生きる ［教材］ 「ぬくみ」 （鷲田清一）	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]:設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題

※令和４年度以降入学生用

二学期	学びを広げる ［教材］ 美術作品を紹介しよう	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]:立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 c:進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫し、分析した内容や考察した内容を紹介文にまとめようとしている。		課題	課題
	生命について考える ［教材］ 「動的平衡」 （福岡伸一）	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	科学技術と人間 ［教材］ 「AI 時代の『人間』」 （堀内進之介）	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	論理国語へのいざない ［教材］ 「情報の『メタ』化」 （外山滋比古）	a:文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]:内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	「情報社会」を生きる ［教材］ 「ネット上の発言の劣化について」 （内田樹）	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:社会的な話題について書かれた論説文などを読みそれらの内容を基に自分の考えを論述している。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題

※令和４年度以降入学生用

三学期	「市民社会」について考える ［教材］ 「『である』ことと『する』こと」 （丸山真男）	a: 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　４０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間